

[論文]

英和幼稚園でうたわれたさんびか

Hymns For Children, sung at Eiwa Youchien

多保田 治 江*

要旨

英和幼稚園（現 北陸学院第一幼稚園）は、現存する日本最古のキリスト教主義幼稚園と位置づけられている。英和幼稚園が設立された時代背景とその保育について文献を通して考察した。次に英和幼稚園でうたわれたさんびかである「Canst Thou Count the Stars?」について調べた。その結果、草創期のキリスト教保育は、宣教師の方々の働きが大きい。幼き心に神の姿をうえつけることはいまでもなく、アメリカでの保育経験や文化の良いところを日本人に伝えるとともに、「豆腐マン」のように金沢の日常生活からリズム遊びを生み出すという地域に合った保育も考案した。このような姿が1886（明治19）年から継続して保育が成された原動力となってきたように思われる。

キーワード：明治期／キリスト教保育／幼児さんびか

I はじめに

ここに、「SONGS and GAMES for LITTLE ONES」というタイトルの本がある。この本は、北陸学院短期大学保育学科の教材室に長く保管されていたものである。2008年4月より北陸学院大学人間総合学部幼児児童教育学科に移行する際に教材室を整理し、音楽関係の文献を譲り受けた関係で、現在筆者の研究室で保管している。

表紙裏には、「Fuki Suzuki Ewa Yochien Aug.7th-1899」の署名と所属がローマ字で書かれ、日付は英語で書かれていた。

この本を読み進むと、幼児さんびかの「そのかずいくつ」とよく似た旋律の「Canst Thou Count the Stars?」という歌が収録されていることに気づいた。筆者自身もうたったことのあるさんびかだったので、英和幼稚園において113年も前からこのさんびかがうたわれていたことに驚きを隠せなかった。

本稿では、最初に英和幼稚園が設立された時代背景とその保育について述べる。その次に英和幼



「SONGS and GAMES for LITTLE ONES」の表紙

稚園でうたわれたさんびかである「Canst Thou Count the Stars?」のドイツ語、英語、日本語の楽譜を通してこのさんびかについて考察する。これらを踏まえて、これからの保育について展望してみたい。

II 英和幼稚園が設立された時代背景

「SONGS and GAMES for LITTLE ONES」の表紙裏に書かれた「Ewa Yochien」（英和幼稚園）は、1880（明治13）年4月に桜井ちか（1855～1928）が創立した桜井女学校附属幼稚園、同じく1880（明治13）年10月にハリエット・

ブリテン（Harriet G. Brittan 1822～1897）が創立したブリテン女学校附属幼稚園に次いで1886（明治19）年10月にフランシナ・ポーター（Francina E. Porter 1859～1939）が創立した幼稚園である。ところが、桜井女学校附属幼稚園は廃園、ブリテン女学校附属幼稚園が途中休園となり、英和幼稚園（現 北陸学院第一幼稚園）が、経営母体もそのままに継続し現存する、日本最古のキリスト教主義幼稚園と位置づけられている¹。次に、英和幼稚園が開設された石川県における明治期の幼児教育について触れる。

石川県では、「師範学校に模範幼稚園を設置したい」という要望が毎年のようにあったが、「費途二困難ヲツゲル」（文部省年報、明治16年）という理由で実現しなかった。石川県で初めて開設された幼稚園は、1885（明治18）年4月20日、内山行貫が主管で百数十名の有志の援助で開設された私立金沢幼稚園である。1876（明治9）年、我が国で最初の幼稚園（国立）である東京女子師範学校附属幼稚園（現 お茶の水女子大学附属幼稚園）の開設から9年後のことであった。金沢幼稚園の設置場所は金沢区広坂通旧益智館で男子21名、女子5名が入園した。金沢幼稚園は、1887（明治20）年4月に師範学校に移管して附属幼稚園となった²。現在は金沢大学附属幼稚園という名称である。

金沢幼稚園の開設の翌年1886（明治19）年10月11日、広坂通りに面した民家を借りて英和幼稚園が開園した。英和幼稚園は石川県において2番目に開設された幼稚園ということになる。その後明治期には、1910（明治43）年馬場幼稚園、1912（明治45）年川上幼稚園の2園のキリスト教保育の幼稚園が開設されている³。

本年は、英和幼稚園（現 北陸学院第一幼稚園）の創立126周年となる。この間に6回名称が変更されている。英和幼稚園時代（1886 - 1912）26年間、北陸学院女学校附属幼稚園時代（1912 - 1945）33年間、保育短期大学附属幼稚園（1945 - 1963）18年間、短期大学附属幼稚園時代（1963 - 2008）45年間、北陸学院第一幼稚園となって4年目となる⁴。フィラデルフィア婦人伝道局の宣教師であった⁵ポーター園長は、幼き心に神の姿をうえつけることに努め、「神は愛なり」

「主我を愛す」等の聖句の暗唱や歌のあるものは英語で教えたらしい。毎日幼稚園で、まりなげ、砂いじり、鬼ごっこ等に打ち興じたり、劇や遊戯をして遊んだことがその頃の卒園生によって語られている⁶。ポーター園長はユーモアと機知のセンスに富んでいて朝夕ラッパを吹いて道をいく豆腐屋をみて、「豆腐マン」というリズム遊びを保育に取り入れた⁷。

「豆腐マン」の写真があるが、それには、「紋付きの羽織・袴姿は、いかにも上流家庭の子供たちらしい。なかには、スマートなセーラー服姿も見える」と解説されていた⁸。



リズム遊び「豆腐マン」

開設当時は主任保母の吉田えつと保母の富田さんが保育を行った。両名ともに桜井女学校幼稚保育科出身である⁹。宣教師たちはアメリカから草花の種をとりよせ、園庭にバラ、忘れな草、金蓮花など色とりどりの花を咲かせ、園児に花の歌を英語で教えたり、園庭で苺やブルーベリーを栽培し、ジャムを作って子どもや親たちにも食べさせるなど、食育に繋がるような活動もなされていたことが記されている¹⁰。ポーター園長の帰国後、ルーサー園長（Ida R. Luther）、フルトン園長（Amy S. Fulton）、ジョンストン園長（Janet M. Johnstone）、ライザー園長（Irene A. Reiser）、ウィン園長（Louenna H. Winn）、ロバートソン園長（Grace M. Robertson）へと受け継がれ、宣教師による幼稚園園長の働きに幕が閉じられた。

III 「SONGS and GAMES for LITTLE ONES」

「SONGS and GAMES for LITTLE ONES」¹¹は、

* TABOTA, Harue
北陸学院大学 人間総合学部 幼児児童教育学科
音楽、器楽Ⅰ・Ⅱ、音楽表現Ⅰ・Ⅱ、音楽科教育法

ガートルード・ウォーカー (Gertrude Walker) とハリエット・ジェンクス (Harriet S.Jenks) によって書かれ、アメリカ ボストンのオリバー・ディトソン社から1887年に発行されている。この本には、幼稚園・学校・家庭でうたう歌やゲームが多く収められている。目次は「讃美歌」(18曲)、「春の歌」(17曲)、「夏の歌」(8曲)、「秋の歌」(5曲)、「冬の歌」(10曲)、「クリスマスキャロル」(14曲)、「さまざまな歌」(8曲)、「朝の歌」(4曲)、「指遊び歌」(10曲)、「恩物の歌」(13曲)、「ゲームの歌」(30曲)、「お別れの歌」(2曲)の大きく12項目に分類し、掲載されている。

幼稚園や保育園で子どもたちがうたう楽譜集は現在も多く出版されているが、讃美歌と保育に用いる子どもの歌が一緒になっているものはあまりない。特にこの本の最初の部分に讃美歌が収められていることが注目点である。「序文」によると、収められている歌のほとんどがこの本のために新しく作られたと書かれている。今回の研究は収められている歌の中で「讃美歌」に焦点を絞った。

-HYMNS-

曲名	作詞	作曲
Morning Hymn	Rebecca J. Weston	D. Batchellor
Can a little Child like me	Mary Mapes Dodge	E. B. Story
Careful Gardener	Mrs. Cushing	
Little Lambs so white and fair		Hymn
All the little Sparrows		
The Birdie's Song	Mabel Frost	B. L. W.
Jesus bids us shine	Mrs. E. H. Miller	
In the pleasant sunny Meadows	Adapted	Mabel Frost
God, make my Life a little Light	Mrs. B. M. Edwards	Gertrude Walker
Canst thou count the Stars?	German	German
The Morning bright	Rev. T. O. Summers D.D.	
God is there		
What the little Things said	Fannie J. Crosby	Harriet P. Sawyer
Children grateful for Meeting		
Little Gardens	Emille Poulsson	G.W.
Easter Hymn	Lucy Larcom	D. Batchellor
Easter Hymn	Lucy Larcom	E. B. Story
At Easter Time	Laura E. Richards	B. L. W.

18曲ある「讃美歌」をうたっていくと、10曲目にある「Canst Thou Count the Stars?」は、なんと現在もキリスト教保育を行っている幼稚園や保育園で子どもたちにうたわれている「幼児さんびか」¹²の21曲目にある「そのかずいくつ」であった。また、「Canst Thou Count the Stars?」は歌詞や旋律がドイツのものと記されている。「幼児さんびか」の「そのかずいくつ」も歌詞はG. E. キュックリッヒ編、曲はドイツ民謡と記されている。では、この「Canst Thou Count the Stars?」は日本語でいつからうたわれるようになったのだろうか。復刻版の讃美歌全集を1曲ずつ、あたかも探偵気分で探っていった。1892(明治25)年に出版された頌栄保母伝習所長アニー・ハウ (Annie L. Howe 1852~1943) の最初の著書である「幼稚園唱歌」¹³の中に、[第四十九 あまたの星] というタイトルで日本語に翻訳されて収録されているのを見つけた。「幼稚園唱歌」は、ハウがアメリカで9年間幼稚園園長として保育に携わっていた時に使って良いと認めた94曲の歌を、大和田建樹や松山高吉に翻訳を依頼して出版したものである¹⁴。目次は、「祈祷歌」(12曲)、「朝の歌」(4曲)、「クリスマスの歌」(4曲)、「四季の歌」(14曲)、「花の歌」(4曲)、「雑歌」(16曲)、「指遊びの歌」(7曲)、「恩物歌」(12曲)、「進行歌」(3曲)、「輪遊歌」(12曲)、「五官の歌」(2曲)、「職業の歌」(4曲)大きく12項目に分類し、掲載されている。[第四十九 あまたの星]は、「雑歌」の中に掲載されていた。巻末に英語でインデックスがあり、[第四十九 あまたの星]は、「49 Can you Count the Stars?」と記されていた。

その他、「SONGS and GAMES for LITTLE ONES」の「讃美歌」に分類されている歌が、「幼稚園唱歌」に2曲あった。「Careful Gardener」→[第十 園丁] (「祈祷歌」)、「The Morning bright」→[第十三 輝く朝] (「朝の歌」)である。しかしながら、この2曲は「幼児さんびか」には収録されていない。「幼稚園唱歌」巻末にある英語のインデックスでは、[第十 園丁]は「10 Gardener」、[第十三 輝く朝]は「13 Bright Morning」と記されており、3曲ともに「SONGS and GAMES for LITTLE ONES」と

「幼稚園唱歌」の英語におけるタイトルの表記は異なっていた。

「Canst Thou Count the Stars?」は日本語でも120年前からうたわれていたことになる。

調査を進めると「Canst Thou Count the Stars?」のオリジナルは、「Weißt du,wieviel Sternlein stehen」というドイツの子どものうたであることが分かった。そこで、ドイツの楽譜、アメリカの楽譜、日本の楽譜の比較分析を行なうこととした。

IV 「Canst Thou Count the Stars?」

Weißt du,wieviel Sternlein stehen¹⁵

作詞：J.Wilhelm Hey

曲：Volkslied

調性・・・ホ長調 拍子・・・4分の3拍子
アーファクト (8分音符2つ)

**Weißt du, wie viel Sternlein stehen
An dem blauen Himmelszelt?
Weißt du, wie viel Wolken gehen
Weithin über alle Welt?
Gott, der Herr, hat sie gezählet,
Dass ihm auch nicht eines fehlet
An der ganzen großen Zahl,
An der ganzen großen Zahl.**

**Weißt du, wie viel Mücklein spielen
In der heißen Sonnenglut?
Wie viel Fischlein auch sich kühlen
In der hellen Wasserflut?
Gott, der Herr, rief sie mit Namen,
Dass sie all ins Leben kamen,
Dass sie nun so fröhlich sind,
Dass sie nun so fröhlich sind.**

**Weißt du, wie viel Kinder frühe
Stehn aus ihrem Bettlein auf,
Dass sie ohne Sorg und Mühe
Fröhlich sind im Tageslauf?
Gott im Himmel hat an allen
Seine Lust, sein Wohlgefallen,
Kennt auch dich und hat dich lieb,
Kennt auch dich und hat dich lieb.**

星いくつあるか知ってるかい [楠根重和訳*2]

1 青い空に星いくつあるか知ってるかい
世界にたなびく雲いくつあるか知ってるかい
主なる神がそれらを数えると、
どんな途方もない数でも、
どんな途方もない数でも、
ただの一つも欠けはしない。

2 暑い夏の灼熱に遊ぶ蚊何匹いるか知ってるかい
透明な水の流れに体を冷やす魚が
何匹いるか知ってるかい
主なる神は、それらをすべて名前前で呼んで
命を与えた。
だからみんなあんなにはしゃいでいる。

3 朝早くベッドから起き上がる子どもが何人か知
てるかい
子どもがうれしいも苦労もなく元気に一日過ごす
のを知ってるかい
天の神は全てのものに喜びと、満足を抱く
おまえのことも知っており、
おまえのことを慈しむ
おまえのことも知っており、
おまえのことを慈しむ。

最初は子どもの子守歌だったメロディーに、ウィ
ルヘルム・ヘイ (J. Wilhelm Hey 1789 - 1854)
が1837年に作詞をして子どものための宗教歌に
したものが「Weißt du, wieviel Sternlein stehen」
である。歌詞は詩編147編4節に基づいている。
プロイセンでは1912年に小学校1年生の授業に
必ずうたわなければならない歌という決まりとなっ
た¹⁶。

Canst Thou Count the Stars?¹⁷

作詞：from the German

曲：from the German

調性・・・ト長調 拍子・・・4分の3拍子
アーフタクト（8分音符2つ）

Canst thou count the stars, that nightly
Glisten in the azure sky?
Canst thou count the clouds that lightly,
Every day go floating by?
God, the Lord, the number knoweth
Of the wonders that He showeth,
In their countless multitude.

Canst thou count the insects playing
In the sunshine's golden light
Canst thou count the fishes straying
In the sparkling waters bright?
God, the Lord, a name hath given
To all creatures under heaven,
When He called them into light.

Canst thou count how many children
Go to little beds at night,
Sleeping there so warm and cosy,
Till they wake at morning's light?
God, the Lord, each name can tell,
Knows them all and loves them well,
God,the Lord, each name can tell.

「Canst Thou Count the Stars?」は、タイトルや
歌詞に古語が用いられている。1858年、ジョン・
ダルッケン(John H. W. Dulcken)が「Weißt du,
wieviel Sternlein stehen」の1節・3節をドイツ
語から英語に翻訳している。(2節については、
訳者が判明していない。)こちらの翻訳の方が平
易である。

Can You Count the Stars?¹⁸

訳詞：John H. W. Dulcken (1&3.Translator of
verse 2 is unknown.)

曲：German melody

Can you count the stars that brightly
Twinkle in the midnight sky?
Can you count the clouds, so lightly
O'er the meadows floating by?
God, the Lord, doth mark their number,

With His eyes that never slumber;
He hath made them every one,
He hath made them every one.

Can you count the wings now flashing
In the sunshine's golden light?
Can you count the fishes splashing
In the cooling waters bright?
God, the Lord, a name hath given,
To all creatures under Heaven;
He hath named them every one,
He hath named them every one.

Do you know how many children
Rise each morning blithe and gay?
Can you count their jolly voices.
Singing sweetly day by day?
God hears all the happy voices,
In their merry songs rejoices;
And He loves them, every one,
And He loves them, every one.

この3節の文言を活かして「Do You know
how Many Stars there are?」というタイトルで翻
訳されている楽譜もある¹⁹。

幼稚園唱歌 第四十九 あまたの星²⁰

訳詞：記載なし

曲：記載なし

調性・・・ニ長調 拍子・・・4分の3拍子
アーフタクト（8分音符2つ）

1 そらにきらめく あまたの星を
或はむら雲 おほひかくせど
神はそのかげ みなしろしめす
おほせならでは ひとつもうせじ

2 やすけく夜を すごしし子等よ
うきもおそれも なきにあらねど
神はめでさせ 名をさへおぼえ
親にまさりて はぐくみ玉ふ

原歌詞の1・3節を英語から日本語へ翻訳した

ようだが、訳詞者も曲についても記載がなかった。

幼児さんびか 21 そのかずいくつ²¹

詞：G. E. キュックリッヒ編

曲：ドイツ民謡

調性・・・変ホ長調 拍子・・・4分の3拍子

1 そらにひかるほし そのかずいくつ
そらにうかぶくも そのかずいくつ
かみさまはみんなみんなかぞえてかぞえて
かみさまそのかずおぼえていたもう

2 てるひにとぶむし そのかずいくつ
うみにおよぐうお そのかずいくつ
かみさまはみんなみんなそのなをそのなを
おぼえてたのしくなをよびたもう

3 あさにおきるこども そのかずいくつ
いちにちうれしくあそぶはいくくにん
かみさまはこどもたちひとりをひとりを
まもりてみちびいてよくしりたもう

「幼児さんびか」の「そのかず いくつ」の楽
譜がその他の楽譜と異なり、アーフタクトで始まっ
ていない。3拍子に合うように訳詞がされている
ためである。また、「Canst Thou Count the Stars?」
がト長調であるのに対して、「そのかず いくつ」
は変ホ長調で書かれている。長3度下に移調され
ることによって最高音もe²からc²となり、無
理なく声の出る音となった。

V おわりに

「SONGS and GAMES for LITTLE ONES」の表
紙裏に書かれていた「Fuki Suzuki」は、北陸学
院職員録には記載されていなかった。ここで糸が
切れるかと思ったが、英和幼稚園から一番近い金
沢教会の1902（明治35）年転入会者の中に「鈴
木ふき」の名を「金沢教会百年史」²¹ から見つけ
ることができた。おそらくこの方だと思われる。
1901（明治34）年に殿町教会へ転入し、翌年金
沢教会に転出したことが「金沢元町教会百十年史」²²
にも記載されていた。

英和幼稚園でうたわれていたと思われる

* 2 楠根重和・・・石川日独協会会長、金沢大学名誉教授

「Canst Thou Count the Stars?」は、ハウがアメリカで9年間幼稚園園長として保育に携わっていた時に使って良いと認めた94曲の歌の1曲であったことが分かった。

草創期のキリスト教保育は、宣教師の方々の働きが大きい。幼き心に神の姿をうえつけることはいうまでもなく、アメリカでの保育経験や文化の良いところを日本人に伝えたり、「豆腐マン」のように金沢の日常生活からリズム遊びを生み出すという地域に合った保育も考案した。このような姿が1886（明治19）年から継続して保育が成された原動力となってきたように思われる。

謝 辞

今回、本小論を書くにあたり、北陸学院ウィン館史料室長 梅染信夫先生、石川日独協会会長 楠根重和先生のご協力をいただきました。

心よりお礼申し上げます。

<注・引用文献・参考文献>

- 1) キリスト教保育連盟百年史編纂委員会『日本キリスト教保育百年史』（社）キリスト教保育連盟 1986 序文. P52
- 2) 石川県教育史編さん委員会編『石川県教育史』第一巻 石川県教育委員会 1974 pp527-530
- 3) 前掲書『石川県教育史 第一巻』 pp.1286-1288
- 4) 北陸学院125年史編纂委員会『北陸学院125年史』{学} 北陸学院 2010 pp.63-86
- 5) 前掲書 『北陸学院125年史』 pp.17
- 6) 南信子編『保育短期大学十年史（学）北陸学院 1961 p.246
- 7) 小林恵子『日本の幼児教育につくした宣教師上巻』キリスト教新聞社 2003 p.219
- 8) 浅香年木監修『石川写真百年・追想の図譜』能登印刷株式会社 1979 p.111
- 9) 前掲書『北陸学院125年史』{学} 北陸学院2010 p.69
- 10) 前掲書『日本の幼児教育につくした宣教師上巻』 p.222
- 11) G.Walker & H.S.Jenks 『SONGS and GAMES for LITTLE ONES』 Oliver Ditson Company 1887
- 12) キリスト教保育連盟編 『幼児さんびか』
- 13) A.L.ハウ撰（奥付では著者）大和田健樹・松山高吉校閲『幼稚園唱歌』今村謙吉 1892 覆刻版：『明治期 讃美歌・聖歌集成』第40巻大空社 1998
- 14) 前掲書 『幼稚園唱歌』 p.3
- 15) <http://www.cyberhymnal.org/htm/c/y/cycstars.htm>
- 16) <http://www.mamalisa.com/?t=es&p=454&c=38>
- 17) 前掲書『SONGS AND GAMES for LITTLE ONES』 p.14
- 18) 前掲 <http://www.cyberhymnal.org/htm/c/y/cycstars.htm>
- 19) 前掲 <http://www.mamalisa.com/?t=es&p=454&c=38>
- 20) 前掲書 『幼稚園唱歌』 pp.75-76
- 21) 日本基督教団金沢教会百年史編纂委員会『金沢教会百年史』日本基督教団金沢教会長老会 1981 p.435
- 22) 日本基督教団金沢元町教会『金沢元町教会 百十年史』 1998 p.204